

令和5年度 江戸川区立中小岩小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よく考える子</li> <li>○思いやりのある子</li> <li>○たくましい子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す学校像</li> <li>目指す児童像</li> <li>目指す教師像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力と活力にあふれ、信頼される学校</li> <li>よく考え、思いやりのあるたくましい子</li> <li>職員自身が最大の教育環境</li> </ul>
前年度までの学校経営上の成果と課題	<p>&lt;成果&gt; タブレット端末を活用した学習や学習活動、ホームページから発信する学校情報の増加など、中小岩小学校の教育活動への理解を広げる基盤づくりを進んだ。</p> <p>&lt;課題&gt; 6年間で育成する児童の資質・能力を明確し、学力や体力の向上とともに児童の成長を促す教育活動を展開するための充実を図ることが課題である。</p>		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確かな習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・年3回の授業観察と面接の実施 ・東京方式による算数指導の実施 ・各家庭への家庭学習習慣の定着に向けた啓発の実施・充実	・東京ベータシグナル…平均正答率75% ・全国学力学習状況調査…区平均正答率 ・各学年×10分間の家庭学習時間…50%以上	B	C	東京ベータシグナルの平均正答率が平均60%である。全国学力学習状況調査及び家庭学習時間の取組については、設定目標を達成している。課題として、東京ベータシグナルで問われる基礎基本の学力が定着するよう、放課後補修教室の取組を充実させる。	C	学力向上の取組は区全体の取組にもなっている。とくに基礎学力の定着は重要であり、引き続き取り組んでほしい。	放課後補修教室の充実 ・各教科における読解力の指導工夫
	<読書科の更なる充実> ・読書科を通じて探究的な学習の実施・充実	・読書科において思考ツールを身に付けさせ、各教科等と相互に関連付けた学習を行う。  ・夏季休業日を活用して、読書科指導に関わる研修を行う。	・探究的な学習の読書科…年12回実施  ・研修…年1回実施	B	C	指導計画に基づいて探求的な学習に必要な思考ツールの学習に取り組ま始めている。また、8月には校長が講師となって読書科指導方法にかかわる研修課題として、各教科等の関りながら、探究的な学習で育成したい力を明確にした指導の充実が必要である。	C	読書科が、読書をするのがわいなのか、探究的な学習をおこなうのがわいなのか、わかりづらさがある。読書科の指導を行う教員、学習の主体者である児童が読書科のわいがいよくわかるようにする必要がある。	読書科のわいがいや取組が分かる情報を発信 ・必要に応じて、読書科の研修を実施
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> 児童一人一人の体力の向上につながる取組を、年間指導計画に位置付けて実施	・中休みの時間を活用して、異年齢交流を関連付けた運動遊びを行う。	・運動遊び…年35回実施 ・縄跳び週間…2学期に実施 ・持久走週間…2学期に実施	B	B	指導計画に基づく取組が進んでいる。課題として、2学期に実施する縄跳びや持久走の取組を確実に実施するとともに、児童自身が運動に親しみ楽しく取り組めるようにすることである。	B	本校においては、来年度から開始する仮設校舎工事の影響により校庭が使用できなくなる。これに対する対策を進めてほしい。	・異年齢交流と関連付けた運動遊びの工夫
	体を動かすことが好きな児童を増やし取組を実施	・運動会をリニューアルし、スポーツを楽しむ特別行事として実施する。	新しいスポーツ行事…6月に実施 学校評価…肯定的な児童80%以上	A	A	運動会からスポーツに親しみ体育行事に変更し、児童の投票により「なかスポ」の名称で6月に実施した。運動会に取り組むことや行事に対して肯定的な回答は90%前後である。課題として、「なかスポ」の趣旨を生かし、豊かなスポーツ文化につながる行事を推進させることである。直接交流児童1名、各学年で行事や一部の教科について日常的な交流を実施できている。課題として、引き続き交流や共同学習を推進するとともに、さらに課題を整理し、次年度の計画に生かすことである。	A	運動会と異なり、内容や時間が短くなり物足りなさを感じるところもある。運動会とは異なるスポーツ行事の実施においても、今年度の成果と課題を生かし、さらに充実するよう取り組んでほしい。	・来年度の実施に向けた実施計画書の作成
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・特別支援教育委員会において個別指導計画に基づいた指導を行う。 ・特別支援学校と連携し、副籍交流を行う。 ・通常の学級と特別支援学級と日常的な交流や共同学習を行う。	学習指導に関わる検討…年3回  ・直接交流児童…1名以上の受け入れ ・共同学習…月平均1回	A	B	現在、tetoru登録が90%を超え、9月から学校だよりや一部の文書について電子データによる文書の配信を開始した。課題として、さらに推進する。	B	特別支援教育は、本校の教育活動の特色の一つであり、引き続き、取り組んでほしい。	・交流活動をより円滑に推進するための実施マニュアルの作成準備
	簡潔で分かりやすい情報の発信とシステムの強化	・学校から発信する文書の電子化とホームページやtetoruやformsを活用した取組を推進する。	・tetoru登録…90% ・学校から発信する文書の電子化…50%	B	C	SCとの情報共有は週1回の割合で行い、必要に応じて関係機関との相談や連携が進んでいる。また、7月までに予定していた内容について、5年面接の一部を除き実施した。課題として、hyper-QUのさらなる活用を行い、安定した学級経営につなげることである。	B	tetoruによる配信は、登録者に対して確実に伝わる媒体であり評価できる。一方、受信者がその都度確認しなければならないなど、改善を求め。	・学校だより以外のototeruによる情報発信
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・スクールカウンセラーとの情報共有の時間を設定し、関係機関と連携した対応策を実施する。 ・5年生対象面接と全学級SCとの給食を実施  ・hyper-QUを実施し、その結果を学級経営に生かす	・SCと管理職との情報共有…年30回以上  ・5年面接…7月までに全児童1回以上 ・SCとの給食…全学級1回 ・6月までに実施	B	B	SCとの情報共有は週1回の割合で行い、必要に応じて関係機関との相談や連携が進んでいる。また、7月までに予定していた内容について、5年面接の一部を除き実施した。課題として、hyper-QUのさらなる活用を行い、安定した学級経営につなげることである。	B	様々な問題を抱える児童に対して、丁寧に取り組んでほしい。また、民生・児童委員との連携を図りながら、地域で子どもを育てる取組も推進してほしい。	・hyper-QUの活用例に基づき研修等の実施
	<地域に広く開かれた学校(園)の実現>	<自校(園)の取組の種々な発信> ・学校(園)ホームページの充実・充実 ・学校(園)公開の実施・充実	・情報発信機能を強化し、学校の教育活動や取組への理解を広げる。 ・年4回の学校公開を行い、児童の学習や教師の指導の様子について公開する。 ・指導教諭による授業公開等を行い、関係校における指導法の普及等に取り組む。	・ホームページアクセス件数…年10万回  ・土曜授業公開…3回 ・平日授業公開…1回実施 ・公開授業…年3回実施	C	C	ホームページアクセス件数は、現在34,000件である。土曜授業や平日の授業公開等について予定通り進められている。課題として、ホームページの更新回数の上昇と、利用しやすいホームページの画面づくりである。ICT支援員とも相談しながら改善に取り組んでいく。	C	ホームページのつくり方や更新回数が増えていることは評価できる。一方、現在のホームページはデスクトップ型のPCで見ることが前提となっている。スマートフォンなど限られた画面でも見やすく、利用しやすいものに改善してほしい。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評議員会と合わせて学校関係者評価委員会を行う。	・学校公開に合わせ各学期1回実施	B	B	現在まで2回実施している。1月に第3回を実施する予定である。課題として、評価項目や評価時期について検討し、学校関係者評価の結果を次年度の教育計画にさらに生かすことである。	B	感染症等への対応もあるが、学校公開の充実にも努めてほしい。各区市ではコミュニティスクールの取組が進んでいる。今後、各区市の取組も紹介してほしい。	・次年度の教育計画の準備と並行して学校公開の在り方の検討
	<開校80周年記念の取組> ・学校、家庭、地域が開校80周年を祝い取組を通して、本能教育活動への理解を広げる	・周年行事や取組に児童が参加できる取組を行う。	・全校記念撮影…4月実施 ・開校記念行事の実施…6月と11月の2回 ・児童が作成する記念誌のページ…2頁	B	B	周年行事の取組については予定通り実施している。課題として、80年の歴史を振り返る学習の充実である。	B	開校80周年の成功、児童にとって節目となる行事になることを期待する。	・ホームページを活用した情報発信 ・開校80周年記念式典後も、学校の歴史を振り返られるサイトをホームページに作成する。
特色ある教育の展開	<特別活動の充実> ・各教科等と特別活動との相互に関連付け、児童の学びに向かう力、人間性等の向上を図る	・学習のわらいと振り返りを必ず行い、児童自身が学びの成長できるよう計画する。	・学校評価…肯定的な回答80%	B	B	各行事等のおいと育成したい力を明確にした学習活動を推進できている。課題として、学級会指導の充実である。引き続き、指導法の定着に向けて取り組んでいく。	B	引き続き、推進することを期待する。	・今年度の成果と課題を踏まえた次年度計画の着手
	<働き甲斐を実感する職場づくりの推進> ・ライフワークバランスの取組を推進するとともに、本校の実態に合った校務改善を一層推進する。	・職員一人一人の勤務内容と超過時間を見直しに取り組む。	・超過勤務時間…年度末までに月45時間の達成	B	C	月45時間までの超過勤務教員は60%である。課題として、引き続きライフワークバランスを推進するとともに、働き甲斐を実感できる職場環境の充実に取り組んでいく。	C	超過勤務時間の減少もそうだが、働き甲斐を実感できた働き方についての面接を実施	・毎月の超過勤務時間の確認と自己申告の機会と捉えた働き方についての面接を実施